

令和3年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田万世会館	所在地	千代田区外神田一丁目1番7号
-----	---------	-----	----------------

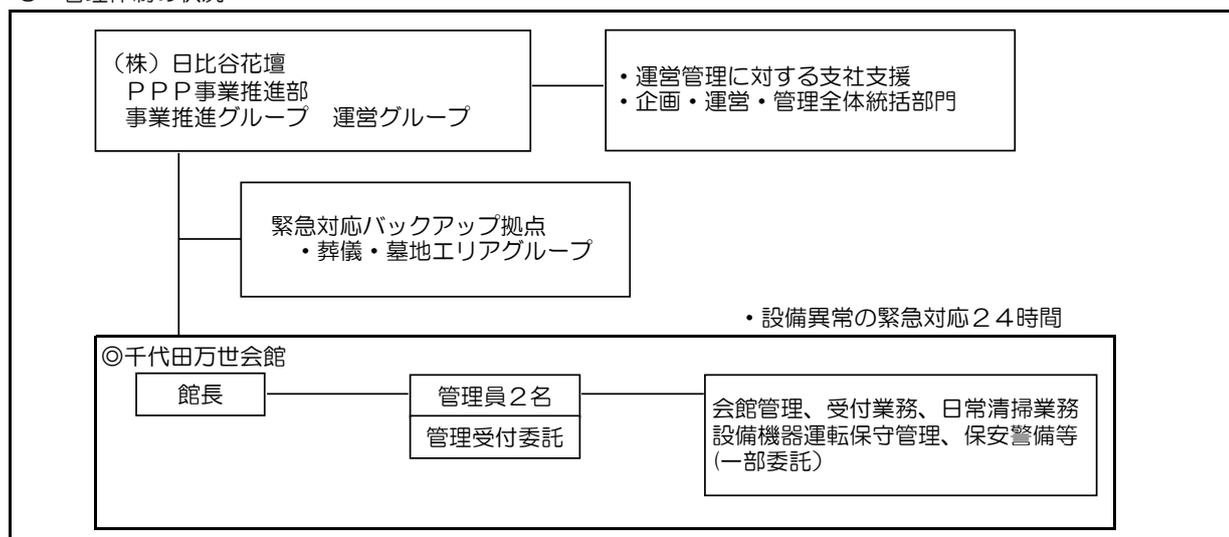
1 指定管理者の概要

名称	株式会社日比谷花壇	代表者	代表取締役 宮島 浩彰
所在地	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区民に葬儀および法要の場を提供し、区民福祉の増進を図る。
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田万世会館の施設の利用承認等に関する業務 ・会館の保守及び維持管理に関する業務 ・会館の運営に関する業務

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用実績

令和3年度	①葬儀利用 ※は1日1組の葬儀として 休館日を除いた日数	②遺体保管用冷蔵庫 ※は1日2遺体利用として 延べ日数	③会議・法要利用 ※は休館日を除いた日数
(A) 利用可能日数※	357日	730日	357日
利用件数	72件	56件	2件
(B) 利用日数	127日	234日	2日
利用率(B) / (A)	35.6%	32.1%	0.6%

※休館日：令和3年度は年始（1月1日・2日）及び奇数月最終友引日等の合計8日

【参考】過去3年間の実績	①葬儀利用		②遺体保管用冷蔵庫		③会議・法要利用
令和2年度	58件	107日	49件	199日	6件
令和元年度	81件	144日	61件	274日	22件
平成30年度	91件	154日	51件	248日	32件

イ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理 ・施設清掃業務（害虫駆除含む） ・消防設備等保守
- ・警備業務 ・音響設備保守 等

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	22,385,000円	人件費	10,013,946円
利用料金	6,195,100円	維持管理費	14,062,587円
その他(自動販売機売上収入)	38,485円	運営費	3,272,297円
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う損失補填	2,620,416円	-	-
合計 (①)	31,239,001円	合計 (②)	27,348,830円
収支差額 (①-②)	3,890,171円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>・利用者の安全、安心を第一に考慮した1年であった。空気清浄機や受付用パーテーション、非接触型体温機器等を引き続き設置し、コロナ禍においても安心して利用いただけるよう努め、利用者の「声」や「要望」をしっかりと把握し、それらに対して真摯に取り組むことができた。</p> <p>・利用者（葬儀社）から苦情のあった、音響ラインの不備について、その原因を専門業者に相談し、簡易ながらも解決することができ、利用者にも概ね満足いただけた。利用者の「声」を蔑ろにせず、真摯に向き合い解決、改善に取り組んだ結果である。</p> <p>・自主事業として、コロナ禍ではあったが、万全なコロナ対策（手指消毒、マスク着用、検温、人数制限、ソーシャルディスタンスの確保）を講じたうえで、①区民葬儀説明会と葬儀社を舞台とした感動映画の上映会②フラワーアレンジメント講座を開催した。いずれも多数の方のご参加があり、高い評価を得られたとともに、来館いただけるきっかけ作りによる施設認知度の向上にもつながった。</p>	<p>・収入実績は、計画対比91.4%という結果となり、コロナ禍の影響を受けながらも若干の回復傾向を見せた。</p> <p>・葬儀件数は72件、前年と比較すると14件の増加、前年対比124%となった。</p> <p>・付帯設備（遺体安置用冷蔵庫）の利用件数は56件、利用日数は234日、前年対比115.9%である。</p> <p>・会議、法要は2件の利用となり、前年対比33%となった。</p> <p>・葬儀に関しては前年と比較すると件数も増加しており、施設利用の回復が見られた。一方で、コロナ禍の影響による葬儀の小規模化で単価は大幅に減少しており、以前からのダウントレンドと相まって、今後も減少傾向になると予測される。付帯設備の利用については、前年と比較すると増加となったが、利用日数や利用回数に規則性を見出すことは困難であり、利用実績の増加には、利用者の認知度を拡大していくことが最も確実な方法と言える。会議、法要についてはコロナ禍の影響でリモート会議や法要の自粛などが定着してきた結果であり、今後も利用は減少していくと思われる。</p> <p>・支出は、計画対比95.6%という結果であった。経費の削減努力はもちろんのこと、コロナ禍の影響による施設利用の減少に伴う消耗品等の購入が減少したこともその一因である。</p>

7 区による評価・業務改善要求

<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、利用者が安心して施設を利用できる環境整備や自主事業による万世会館周知に努めており、高く評価できる。施設管理においては、設備保守点検による不具合の早期発見や計画的な修繕の実施により安全性が確保されているほか、会館利用者等の意見に迅速に対応している。</p>

8 今後の指定管理に区が期待すること

<p>葬儀規模は、今後も縮小傾向となっていくことが想定される。万世会館は中・小規模葬儀に適している施設であることをアピールするとともに、これまでの運営ノウハウを活かした利用者サービスの提供を引き続き期待する。</p>
--